

診断士会News

No.2022-07

2022年12月1日

鳥取県コンクリート診断士会

〒682-0025倉吉市八屋354-1

☎0858-26-2358 Fax0858-26-2128

URL⇒<http://www.tottori-acc.com/>

鳥取県立倉吉農業高等学校 出前講座

1. 講座名 インフラの維持管理
2. 目的 橋梁点検の実習を通じて、建設業への関心を高める
3. 日時 令和4年12月1日(木)11:00~12:30
4. 対象者 県立倉吉農業高校 環境科 森林土木設計コース 2年生9人
5. 場所 講義 県立倉吉農業高校教室
実習 国道313号不入岡大橋
6. 主催 鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会(事務局:公益財団法人鳥取県建設技術センター)
7. 計画・実施 鳥取県コンクリート診断士会
8. その他 生徒にクラックスケールをプレゼント(鳥取県コンクリート診断士会より)

日 程 表

実習科目	時間	講師
○講義 ・インフラ維持管理の基礎 ・橋梁点検実習の説明	11:00~11:20	鳥取県コンクリート診断士会 (西谷技術コンサルタント株式会社)
(実習現場へ移動)		
○体験実習(3班体制) ①地上からのコンクリート調査 ・RCLレーダーによる鉄筋探査 ・シュミットハンマーによるコンクリート強度推定 ・クラックスケールによるひび割れ幅測定 ・コンクリートの打音調査(不良コンクリート片)	11:30~12:15 (各15分)	①鳥取県コンクリート診断士会 (西谷技術コンサルタント株式会社)
②高所作業車によるコンクリート調査 ・コンクリートの打音調査 ・鋼橋桁の板厚測定		②鳥取県コンクリート診断士会 (西谷技術コンサルタント株式会社)
③コンクリート補修工事の見学 ・含浸材塗布 ・ひび割れ注入		③鳥取県コンクリート診断士会 (株式会社MASUDA)
○体験実習(全員集合) ④ドローンによるコンクリート調査 ・ドローン撮影画像のリアルタイム地上確認	12:15~12:25	④鳥取県コンクリート診断士会 (西谷技術コンサルタント株式会社)
○意見交換等 ・質疑応答、感想等 ・写真撮影	12:25~12:30	鳥取県コンクリート診断士会 (西谷技術コンサルタント株式会社 株式会社MASUDA)
(現地解散)		

実習状況



田中講師による講義
(インフラ維持管理の基礎)



コンクリート調査
(RCLレーダーによる鉄筋探査)



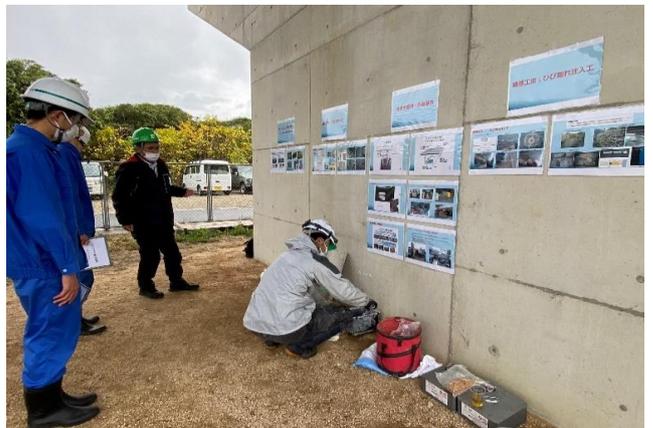
コンクリート調査
(シュミットハンマーによるコンクリート強度推定)



コンクリート調査
(クラックスケールによるひび割れ幅測定)



コンクリート調査
(空洞のある不良コンクリート塊の打音調査)

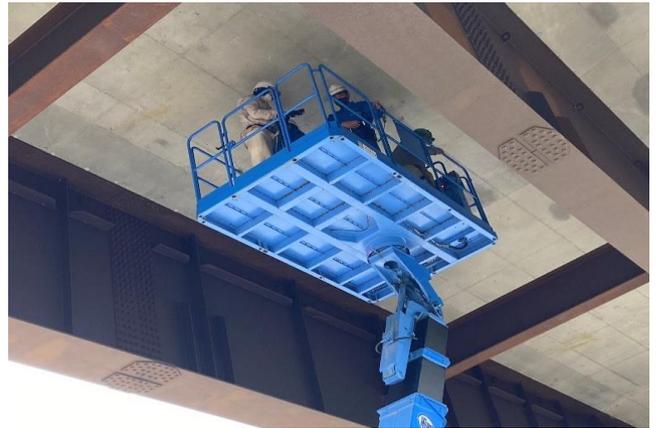


コンクリート補修工事の見学
(含浸剤塗布、ひび割れ注入)

実習状況



高所作業車によるコンクリート調査



高所作業車によるコンクリート調査



高所作業車によるコンクリート調査
(コンクリート床板の打音調査)



高所作業車によるコンクリート調査
(超音波厚さ計による鋼橋桁の板厚測定)



コンクリート調査
(ドローン撮影画像のリアルタイム地上確認)



コンクリート調査
(ドローンから撮影した実習現場)

新聞記事

日本海新聞 2022年12月10日(土)

ふるさとワイド

とっとり東部・中部

0557-2880
0556-5311

現場の調査を体験

橋梁テーマに出前講座

倉吉農高

橋梁の鉄筋の場所を
確認する生徒(左側)



倉吉市 建設分野の担い手育成
として、倉吉農高で橋
梁をテーマに、環境科森
林土木設計コース2年の7
人が出前講座でインフラの
維持管理について学んだ。
鳥取県コンクリート診断士
会(田中孝次会長)らが講
師を務め、建設工事での建
設コンサルタントや建設公
社の仕事や役割を説明。近
くの実習施設では調査を体
験し、業務に理解を深めた。
建設現場に立ち入りでもら
いた。と、県建設分野担い
手確保・育成連携協議会が

主催、同校行われた。座学
では、田中会長が鉄筋の腐
びを説明した。梁は2000年
以上建設後20年を経過する
ことが多く、コンクリート
構造物の劣化のメカニズム

や腐食点検、補修の方法な
どを説明した。

その後、倉吉市大入向の
国道113号不入向入向橋に
移動し、体験実習。鉄筋探
車に乗ってのコンクリート

打音調査、ドローン撮影の
調査も体験した。西田康之
さんは「コンクリートを
たたいてみると、音の違い
があることが分かった。コ

コンクリート
の方が楽しそうと話した。
(加藤祥代)

新聞記事

日刊 建設工業新聞 2022年12月5日(土)

Weekly Guide

- 12月5日(月)
 - ◆12月県議会代表質問(白民党)
- 12月6日(火)
 - ◆白書町議会12月定例会開会(～13日)
 - ◆古津村議会12月定例会開会(～16日)
 - ◆大山町議会12月定例会開会(～21日)
 - ◆日野町議会12月定例会開会(～14日)
 - ◆日南町議会12月定例会開会(～13日)
 - ◆三朝小学校安全新願祭(三朝町総合文化ホール 午前10時)
 - ◆シノワ技研「マルチチーム測量」デモ(南部町下中谷・青杉ガム 午後1時30分)
- 12月7日(水)
 - ◆12月県議会一般質問
 - ◆県産工組「電気工事業 内理 解促進交流研習会」(環境総合技術高校 午後1時)
 - ◆米子県土整備局と県務協(西支部)の意見交換会(泉西部総合事務所 午後4時)
- 12月8日(木)
 - ◆12月県議会一般質問
 - ◆東部土木施工管理技士会C1M研習会(泉土福祉人材研修センター 午前9時)
- 12月9日(金)
 - ◆南部町議会12月定例会開会(～21日)
- 12月10日(土)
 - ◆12月11日(日)

ドーム上屋は1.9億円 東部建築が公告を準備

東部建築住宅事務所は、チーフ鳥取砂丘こどもの国に設置する防災機構運送員の上屋新築工

事(いわゆるドーム)な第1、木部第2、北側第3の工事を公告する。上屋の新築は概算工事が1億9000万円、建築A種を対案に公告する。

ドームの新設は、鳥取市浜坂にある「こどもの国」が開園50周年を迎える(予定)を記念して新設する施設。工事は、鉄骨造平屋建(600・35平方メートル)の建築を予定する。工期は23年9月15日。

県営住宅再生団地ほか引込開閉器修繕工事(鳥取市相形)は、同地のほか湯原第1、末

市浜坂にある「こどもの国」が開園50周年を迎える(予定)を記念して新設する施設。工事は、鉄骨造平屋建(600・35平方メートル)の建築を予定する。工期は23年9月15日。

県営住宅再生団地ほか引込開閉器修繕工事(鳥取市相形)は、同地のほか湯原第1、末

市浜坂にある「こどもの国」が開園50周年を迎える(予定)を記念して新設する施設。工事は、鉄骨造平屋建(600・35平方メートル)の建築を予定する。工期は23年9月15日。



平井知事

12月県議会開会 補正案37.8億円を提出

12月定例会県議会は1日開会し、新型コロナウイルス感染症や内閣、物価高騰などの対策を盛り込んだ一般会計37.8億9900万円の補正予算案などを協議が提出された。会期は22日まで2週間。

提案理由説明で平井知事は、円安・物価高騰をはじめ、新型コロナウイルス第8波への対策

に取組むと決意。安

全・安心ふるさとづくりでは、一帯古閑金道路の整備を促進し、河川の樹木伐採・河道掘削などを展開する」と述べた。

主な補正内容は、特別支援学校施設整備事業に5億8000万円、木材加工流通施設整備を支援し、木材産業の競争力強化に9億6000万円など。公共事業は県営ため池総合整備に4億4000万円、地域高規格道路に21億1500万円など192億9900万円を追加する。補正後の一般会計総額は456億7600万円となる。

今後の議事日程は、代表質問が5日(由良知事答正範議員一般質問は7日から8日間。

鳥インフル対応 建設業協会に謝意

11月30日に鳥取市内の養鶏場で検出された鳥インフルで、平井知事は1日開会した12月県議会本会議の冒頭「建設業協会をはじめ、関係者に協力いただいている」と述べ、県建設業協会などに感謝の意を示した。県

建設業は「災害発生に基づき、東部建築が主体となって殺処分した鳥の運搬作業に当たっている。平井知事は「さめたる感染拡大を防ぐため、万全の措置を講じる」として、養鶏農家を支援する追加補正予算を会期中に提出すると説明。議会間に協力を求めた。

提案理由説明で平井知事は、円安・物価高騰をはじめ、新型コロナウイルス第8波への対策

に取組むと決意。安

全・安心ふるさとづくりでは、一帯古閑金道路の整備を促進し、河川の樹木伐採・河道掘削などを展開する」と述べた。

主な補正内容は、特別支援学校施設整備事業に5億8000万円、木材加工流通施設整備を支援し、木材産業の競争力強化に9億6000万円など。公共事業は県営ため池総合整備に4億4000万円、地域高規格道路に21億1500万円など192億9900万円を追加する。補正後の一般会計総額は456億7600万円となる。

今後の議事日程は、代表質問が5日(由良知事答正範議員一般質問は7日から8日間。

県建設分野担い手確保・育成連絡協議会(河田英明会長)は1日、県立倉吉農業高等学校の生



RCレターを使った新築現場

RCレターを使った新築現場。RCレターを使い、内部の鉄筋を探

一体型ノブリーディング充填工法
 (国土交通省新技術情報システム登録番号 NETIS QS-190026-A)
 ・充填性が強く各種形状に適合しているため、現場で任意の形状に充填可能。
 ・深部の充填場所にも到達することなく充填できます。
 ・素上プラントなどで狭い場所でも施工できます。

ノブリーディング 充填工法

TM-300220 施工写真

サイキ建設工業株式会社
 〒680-0264 鳥取県米子市鳥取町1854番地2
 TEL:0939-4-0275 FAX:0939-3834

鳥インフル発生受け 東部建築が運搬業務

11月30日に鳥取市内の養鶏場で高病原性鳥インフル発生が発生したのを受けて、東部建築事務所は同日、特定家畜伝染病の緊急対策協定に基づき、県東部建設業協会に

対して、殺処分した鶏の焼却場への運搬を同協会員が対応する。

殺処分する鶏は約11万羽。2トラック3台で同市西今在家の神谷清掃工場まで運搬する。同工

場では日中は一般ごみを焼却しており、搬入は午後6時から翌日午前6時まで。1日から搬入開始し、搬入完了には現時点で18日程度かかるとみられる。

インフラ維持を学ぶ 倉敷で出前講座開く

講師を県コンクリート

田中会長は「新しいものを作るだけでなく、これからは作るための維持管理が、インフラを守るという意味でも重要になる。点検、調査、施工など様々な経験を

通じて、業界に興味を持ってもらいたい」と話した。

▼東部土木施工管理技士会(野藤俊明会長)は、8日午前9時から鳥取市伏野の県立福祉人材研修センターでC1M研習会を開く。

東部地区生コン

生コン価格値上げ 立米当たり3000円増

東部地区生コンクリート協同組合(高橋哲夫理事長)は1日、生コンクリート価格を改定した。改定後の価格は同

日以降の新規物件から適用。同組合では生コンクリート価格を昨年10月に改定し、今年8月と10月には県の設計単価も引き上げられた。ただ、その後も原材料価格のほか、

燃料、補修費、輸送費なども値上げが続き、生コンクリート価格を1立方メートルあたり3000円値上げすることになった。また、輸送費やコンクリート試験など「価格表の外に割増を要するもの」についても価格改定した。改

藤本俊彦氏(72)

藤本組代表取締役

藤本組(伯耆町吉長)の代表取締役を務め、県西部建設会館の専務取締役などを歴任した藤本俊彦氏が11月25日に死去。享年72歳だった。流れ葬は5日午前11時から、白書町吉長の光風伯耆ホールで。葬儀は同日午後2時から家族葬で執り行う。喪主は夫人の政子さん。

▼県東部土木施工管理技士会(野藤俊明会長)は、8日午前9時から鳥取市伏野の県立福祉人材研修センターでC1M研習会を開く。

▼江府町議会12月定例会は6日から10日まで8日間

業界 往来